

南早来変電所

記者 岸川 歩 芳賀 世蓮

○南早来変電所

この苫小牧統括電力センターでは、厚真の火力発電所、遠くは日高系水力発電所から電気がやってきます。なぜって？ここには変電設備があるからです。では、なぜ変電するかって？そいゃ、作られたばかりの電気は家庭で使えないからです。では、具体的にはどんな所でしょうか。

<変電の仕組み>

発電所



送電線

変電所



家庭・工場 etc

変電所はなぜあるの？

電気は作った時にはだいたい5000~20000v(コンセントは100v)の電圧で、とても家庭では使えません。そこで、発電所から変電所へと電気はやって来ます。そして家庭にやって来るまで、電圧が低い方が便利です。だから変電所があるのです。

・仕事内容

・設備点検

月に2回所全体をパトロール。

6年に1度変圧器などの設備を点検する。分解して、中身も点検することがある。

・コントロール

苫小牧方面の重要な場所で、常に適切な指示、制御が必要になる。

電圧高 → 送電ロス小 → 扱いにくい

電圧低 → 送電ロス大 → 扱いやすい

アクセス

← 至苫小牧

至厚真

・住所 059-1433

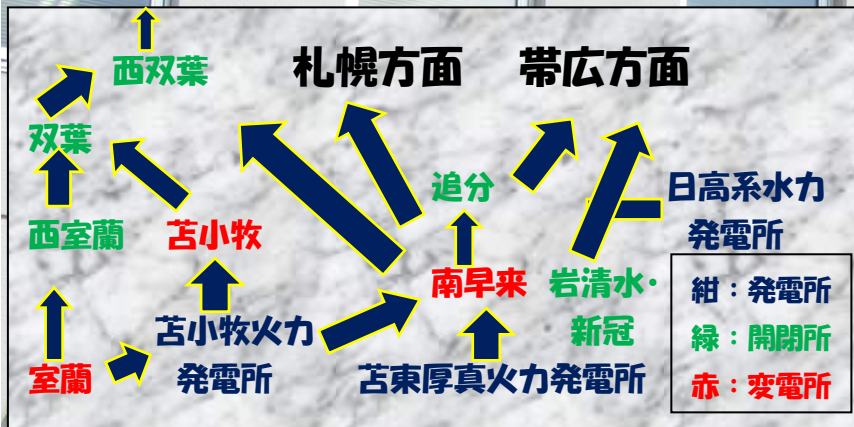
北海道安平町遠浅

変電所 680-10

TEL0145-22-4111

畜産公社

・周りの様子



・設備



・遮断器
 三本の管を使い、事故を防ぎます。

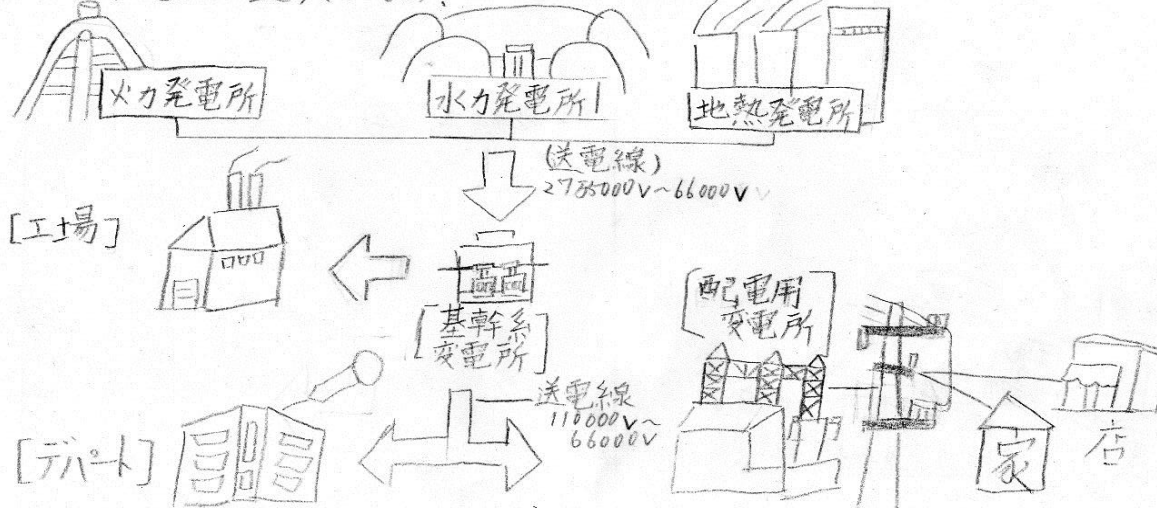


・変圧器
 この機械で電圧を下げます。中にはコイルがあります



・鉄塔
 電気を流す送電線を支える大変重要な物です。

どこどこに電気を送っているの？



電気は貯めておくことができません。スイッチを入れたと同時に流れて来るのは、今この瞬間に作られた電気です。作られたばかりの電気は電圧がとても高く、家庭では使用できません。その電流をリレー方式で運び、少しずつ電圧を下げて、家庭に送るのです。左の図では、そのリレー方式を絵で表しています。